

# 会 議 所 ニ ュ ー ス

令和3年（2021年）1月18日（月曜日）



## 父母の年は知らざるべからざるなり

『論語』(里仁篇)には、「子曰(いわく)、父母の年は知らざるべからざるなり。一はすなわち以(も)こて喜び、一はすなわち以て懼(おそ)る」とあります。

子として、父母の年齢は知っていないければならない。それは「この年になつてもまだ達者でいらつしゃるのか」と、その長寿を喜ぶためであり、もう一方ではこの先の心配をするためだ。そこには、若くして親を失つた孔子の「君たちは父母が生きているというだけで、たいそう幸せ

## 道徳で人と社会を幸せに

なのだ」という思いも表れているように思えます。

私たちにとって、親とは非常に大きな存在です。自分へのちを与え、養い育ててくれた親からは、自分自身が成長し、自立してからも、人生を歩むうえで大きな影響を受けることでしょう。その親が年老いていくときにこそ、これまで見てきた親の後ろ姿や、注いでもらった愛情の深さを思い起こしたいものです。

## 「道徳」教科化—ヒントの泉

『ニューモラルの心を育てる言葉366日』

掲載日から7日間限定で10名様に**プレゼント!**

道徳を考える月刊誌『ニューモラル』最新号

住所・氏名・「中津商工会議所N」を明記の上、メールまたは電話でお申し込みください

公益財団法人モラロジー研究所 〒277-8654 柏市光ヶ丘2-1-1

E-mail: book@moralogy.jp TEL: 04-7173-3155